

5月のイベント・展示会及び視察レポ

岡山県大連ビジネスサポートデスク 岡野涼子

春のイベント・行事が集中する4～5月、本年は春の訪れが非常に遅く、5月にずれ込む行事もありました。定例の展示会ではなく、これまでに紹介しきれなかったイベント或いは本年単発実施のイベント、視察を中心に報告・案内させていただきます。

5月1日 第2回中国大連国際桜花節開幕式

日本との交流を象徴するような本行事は、昨年に引き続き旅順の龍王塘で開催されました。通常4月中旬から下旬にかけて開花する桜が、本年は寒波のずれ込みにより、5月初旬にやっと咲きほころぶ状態でした。JALなどが協賛し、地元の歌舞団や留学生らの演出が華やかに執り行われました。大連には幾つか花見の名所がありますが、その中でも最大級の同地は今後、植樹などを定期的に行うとのことです。

5月4日～5日 丹東経済ミッション

恒例となった在瀋陽日本国総領事館企画、松本盛雄総領事が団長を務める標記経済ミッションに参加しました。国門湾開発区、丹東港の他、曙光汽車を訪問しました。

同市は遼寧沿海経済ベルト地域発展計画の対象都市で、人口約420万人、面積は15300㎡。主要産業は自動車及び同部品製造、製紙、アパレル、計測器産業、食品産業で、北朝鮮と鴨緑江を挟み国境を接し、辺境貿易も盛んです。

5月4日には国門湾開発区、遼寧(丹東)儀器儀表産業基地、丹東港を視察後、同市の王力威副市長の日本語による同市紹介を受けたあと、趙連生市長によるレセプションが開催されました。

5月5日は遼寧曙光汽車集団(自動車部品及びトラック生産)、丹東帕斯特穀物有限公司(飼料加工、輸出)を視察。曙光汽車は、自動車部品製造から創業し、現在では著名なトラックメーカーとして知られています。

5月27日～28日 遼寧省営口市・盤錦市視察

5月27日 瀋陽と大連の中間に位置する営口市を訪問。現地部品製造企業を視察した後、徐兆元招招副局長から同市の紹介を受けました。同市は人口約230万人、総面積は約5400k㎡で、国家戦略プロジェクトの遼寧沿海経済ベルト地域発展計画及び瀋陽経済区計画が重なる唯一の地域であり、大連に並ぶ遼寧省の港湾都市。豊富な鉱物資源を有し、大連と並ぶ遼寧省の代表的な港湾都市で、2009年度のGDPは822億元(前年比20%増を記録)。日本企業では耐火材、アパレル、木材関連等が進出しています。高速道路網も急速に整備されており、近年は鞍鋼鉄鋼の製鉄工場が新営口港に隣接地に設立され、運営を開始しています。

5月28日 盤錦市を訪問。同市は遼寧沿海経済ベルト地域発展計画の対象都市。遼濱沿海経済区を視察した後、現地の民営の鑄造企業及び食品企業を訪問。同市は人口約130万人、面積は約4070k㎡。湿原の街としても知られ、東北の米どころです。また中国第3位の遼河油田を有しています。